

常任委員会 「所管事務調査」中間報告



多摩市議会では、4つの委員会がそれぞれ2年間のテーマを選定し、調査・研究を行っています。今期は、3つの委員会が2年間のテーマを「所管事務調査」に位置付けました。

※所管事務調査とは

各常任委員会は、その委員会の担当している市の事務(所管事務)について調査を行い、提言・提案などを行うことができます。

総務常任委員会

市民が望む庁舎建て替えについて

視察による新しい発見

5月13日に建て替え事業の取組みを終えた清瀬市への視察を行いました。

免震構造などの防災機能強化、屋上を活用した養蜂事業、壁を可動式にした議場などを参考にさせていただきました。

中でもコスト削減や効率性を高めるための様々な考察はこれからの取組みに直結し、新たな発見の場となりました。

有識者懇談会の報告と質疑

6月6日には3回目の勉強会を開催し、5月30日に開催された多摩市役所本庁舎建替基本構想策定有識者懇談会の内容について報

告を受けました。

コロナ禍もあり、市民サービスそのものの在り方が大きく変わっている中、有識者からは街づくりという広い視点で忌憚のない意見をもらったという市からの報告に対しては、広い視点や未来の話と同様に、現状の把握が重要であるといった意見や、市役所の立地についての考え方を問う質疑がありました。

今後、7月以降に開催される市民フォーラムへの参加、また、引き続き開催される勉強会を中心に調査研究を進めていきます。



清瀬市役所地下階の免震装置

生活環境常任委員会

「多摩市気候非常事態宣言」の具体化について

知識を深めるための取組み

所管事務調査に位置づけてからの1年間、宣言の具体化に向けてまず知識を深めるため昨年10月と11月の2回、講師を招いた勉強会を行いました。

また、昨年12月から今年の4月にかけては、先進的な取組みを行っているトヨタ西東京カローラ桜ヶ丘店、自然エネルギーの普及に携わっている多摩電力合同会社及び一般社団法人多摩循環型エネルギー協会、環境配慮に関する取組みを紹介している長谷工マンションミュージアムの3か所に視察に伺いました。

今後は具体化に向けた提案を

気候非常事態宣言の具体化に向けた取組みとして、これまで進めてきた勉強会や、環境に配慮した先進的な取組みをしている市内企業へヒアリングに伺った成果を整理し、報告書にまとめていくことにしました。加えて、所管課へのヒアリングや先進市への視察を通して、本市でもできそうなこと・推進すべきことを調査し、市への提案とすることをめざし進めていくこととしました。



長谷工マンションミュージアム

子ども教育常任委員会

GIGAスクール構想について

授業の状況と勉強会の実施

生徒一人1台のタブレット端末、学校の通信環境を整備するGIGAスクール構想。タブレット導入時は児童・生徒が使いこなせるのか、教員への負担はどうかなど様々なメリット・デメリットが予測されていました。その状況を調査すべく昨年は市内の授業を視察、また教育長や講師を招き勉強会を行いました。

先進市へ視察調査

5月17日には荒川区立尾久宮前小学校を視察。荒川区では平成26年度からは全校に、タブレット端末一人1台体制を導入しており先駆的な区です。導入当時は教員の苦手意識や負担の問題、情報

モラルの問題もあったが知恵を出し合い、児童の学びのため前向きに取り組んできたことが伺えました。

特徴としては、タブレットPCを導入しており、高学年ではキーボードでの操作・入力を行っている、ICT指導員の充実、調べ事について図書とインターネットのハイブリッド授業、多様なアプリの導入などが伺えました。

今後さらに調査し多摩市の教育環境の向上に貢献したいと思います。



尾久宮前小学校の授業の様子